所沢市立美原中学校

学校だより No 6

令和４年度　第６号
１０月１３日（木）

学　校　教　育　目　標
・進んで学ぶ生徒（知）
・心豊かな生徒（徳）
・たくましい生徒（体）

美原祭に思いをよせて！！「こんな美原祭にしたい。」

後２週間足らずで、美原祭となります。今日は、美原祭について私の思いをお伝えします。昨年この学校に着任して美原中学校は、なぜ「合唱コンクールでもなく合唱祭でもなく「美原祭」なのだろうと不思議に思い、私なりの考えをまとめてみました。現在の美原祭は、賞を出していますので合唱コンクールの形態を残しています。昨年も３年生を筆頭に素晴らしい取り組みを見せてもらいました。受賞できたクラスは、もちろん苦労が実り、結果も出たのでわかりやすく、成就感も味わったと思います。当然、賞をいただくことで頑張って引っ張ってくれたリーダーや大部分のフォロアーの存在に素直に感謝を述べられます。しかし、結果は、わかりやすさと同時に見失ってしまうものも混在します。当日まで、様々な困難のある中、あきらめず目標に対してリーダーシップを発揮し続けた生徒や、自分は歌が苦手だがクラスの取り組みに少しでもクラスに加わりたいと「恥ずかしいけど助けてと仲間に伝え」助けてもらいながら貴重な人間関係の構築を感謝の心を育みながら臨んだ美原祭。金賞や銀賞の結果が出ないと、先程まで確かにあった関係が泡となり消えてしまうのは、あまりにも切ないのです。私は、２学期の始業式に、「より良い人間関係を身に着ける２学期にしよう！！」という話をしました。より良いものをつくろうとする姿勢。不得意なことでもクラスの中に入って、力になりたいという尊い気持ち、また、そのような人が困ったとき、その困ったことに「助けて」と言える関係。そして、あたたかく思いやりをもってそれに応えてくれる人の存在、リーダーシップ＆フォローシップなど多くの財産（無形財産という）が皆さんに、もたらされることを忘れてほしくないのです。ですからこれからの２週間は、この経験を重ねることができる美原祭にしてほしいのです。ちなみに合唱祭でもなく、「美原祭」なのは、「美原中学校の祭り」すなわち美原中学校の全生徒で「よい学校」になるように願いを込めて執り行うすべてのことを示すのだと考えました。（体育祭も同様）一人一人の生徒が 700 人集まったのが美原中学校なのです。この中学校を目指してこそ、美原祭が成功したといえると思います。これからも応援していきます。

自転車乗車時のヘルメット着用についてのお知らせ 2

前回の学校だよりで自転車の事故のために本校としてヘルメットの着用を導入することをお知らせしました。ヘルメットを着用の完全実施は、3 学期からと考えています。間もなく本校のヘルメット着用の要綱をお配りし、完全実施までの移行期間としますがその中に安全基準「SG」マークについて述べられています。その他にも各団体から出された基準があります。本校では、SG マークが保障制度（使用状況あり）を、本校の基準としました。（他校でも多く採用されています。）また、購入方法の検討において、他の業者に学校での販売を依頼しようと資料＆サンプルを取り寄せました。しかし、学校での販売より保護者の皆様の購入経路（インターネットを使用した購入等）の方が圧倒的に安価で種類も豊富なことから、学校での取り扱いを行わないこととしました。

尚、前回もお知らせしましたが、現在お持ちの方も「SG」マークの安全基準が付いていれば使用できることも重ねてお知らせさせていただきます。

人権教育　LGBTQ+教育が間もなくスタートします。

先日の生徒会選挙の日に生徒から LGBTQ＋にかかわる話が出ました。所沢市の市の広報にも以前、取り上げられ、この話は、ここまでスタンダードになってきたかと感じています。

これからの未来を生きる生徒たちには、より良い生き方と正しい知識を伝え、個性を尊重し他人と関わりながら、たくましく未来を生き抜く資質を養ってほしいと考えています。

具体的な本年度の取り組みは、学校では、学校評議委員会や PTA 理事会では、LGBTQ＋に係る教育の推進については、「LGBTQ+推進委員会の設置等」一定のご理解をいただきました。教職員のレベルでは、今月終りより研修を始めます。また、美原中学校の PTA の代表の方と校長にて、民間で行われる LGBTQ+に係るワークショップによる研修にも参加します。そこで見識を深めるとともに、学校で行わなければならない教育、多様な個性への尊重と学校でできる環境整備等について教職員・生徒・保護者・地域による共通理解を深め、その理念のもと、美原中学校の生徒観を更に明確にお示しし共有して進めてまいります。今後ともご理解のほどお願いいたします。

校長見聞録

銀杏ひろいと不審者対応

校内のイチョウの木にも銀杏の実がたわわに実り、多くの銀杏が地面に落ち始めている。

先日の新人戦の際に、市民 G が野球会場の都合上、美原中を練習会場として貸し出した。私は、この新人戦は、美原中の試合開始が、午前９時ごろが多く、校舎裏に車を移動させ、時間短縮を図った。更に地の利を生かし、3 種目を効率的に回るルートを選び視察、急いで裏に回ると自転車が止めてあり出られなかったので、移動させようとした。イチョウの木の下から「すみません。邪魔でしたか？」の声がかかる。不審者のことを気にしていた私は、私より年上とみられる女性に自分を校長だとも言えず「あの一学校は、許可なく入れないんですよ。」と告げると。「すみません。あともう少しで終わりますから。」と言われ「・・・急いでお願いします。」と告げ、後を学校職員に頼んで次の会場に向かった。私は、後日、美原中のセキュリティーのため野球専門部に通路の管理を依頼し、学校職員にもこの事実を伝え警備の強化を行った。しかし、この地域の方？は、毎年来られているようで「美原中の銀杏は、質が良い」とおっしゃっているそうだ。私の仕事は、何なんだと思い、不審者の対応がこんなささやかなことまで規制しなくては、ならないのかと心が痛んだ。不審者の弊害がここにもあるのか。